



お金の無くともアイデアで改善中！
境町の財政状況と新たな財源の創出について
現在の財政状況を踏まえ、町では財政改善に向けた様々な取り組みを行っています。なかでも、各種補助金の獲得、活用が町の活性化に大きく貢献しています。これまでの活用内容を報告します。



北関東
104市町村中
ワースト
1位

境町の将来負担比率
(収入に対する借金の残高の割合)

171.5%

境町の実質公債費比率
(収入に対する借金の返済額の割合)

16.1%

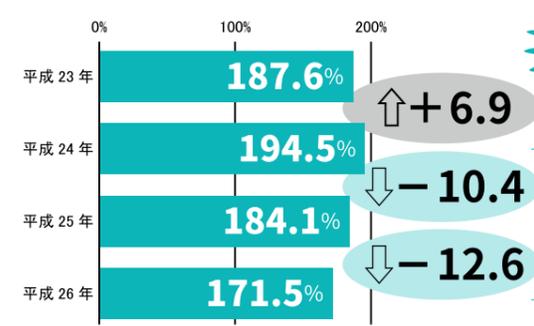
【平成26年度財政健全化判断比率ワースト度】

※()内は、平成25年度調査結果。

順位	実質公債費比率<%>
1 (2)	境町 16.1 (16.2)
2 (1)	高萩市 15.4 (17.2)
3 (3)	五霞町 13.9 (14.5)
4 (4)	鹿嶋市 13.4 (14.2)
5 (5)	城里町 12.8 (13.7)
6 (6)	八千代町 11.3 (13.3)
6 (7)	下妻市 11.3 (12.9)
8 (8)	結城市 11.0 (11.6)
9 (10)	かすみがうら市 10.8 (11.4)
10 (9)	筑西市 10.5 (11.5)

順位	将来負担比率<%>
1 (1)	境町 171.5 (184.1)
2 (2)	高萩市 114.8 (120.4)
3 (3)	古河市 102.0 (105.9)
4 (4)	水戸市 91.0 (97.2)
5 (5)	かすみがうら市 86.1 (96.8)
6 (11)	北茨城市 85.7 (71.8)
7 (7)	下妻市 81.8 (82.1)
8 (8)	茨城町 80.2 (81.8)
9 (9)	行方市 80.0 (80.8)
10 (12)	城里町 73.1 (70.6)

【境町将来負担比率の推移】



財政難から
脱出するためには、
新たな施策が必要！
2年間で23ポイントの
削減を図るも
いまだ厳しい状況に

境町の財政状況は北関東ワースト1位
平成26年度決算に基づく地方自治体の財政健全化状況によると、財政状況を判断する基準において、町が将来支払うべき借金の割合を示す「将来負担比率」及び、町の収入に対する借金の返済額の割合を示す「実質公債費比率」の2部門で、境町の財政状況は北関東104市町村中ワースト1位と非常に悪い状況にあります。
町では徹底的なコスト削減等によって、平成24年以降将来負担比率の数値を23ポイント下げるなど、財政改善に努めてきましたが、依然として、楽観視できる状況ではありません。
最悪の場合、北海道夕張市のように財政破綻する可能性もあります。町が財政破綻すると、どんなことが起きるのでしょうか？

【財政破綻後の夕張市の変化】

項目	財政破綻に伴う変化
市民税 均等割	3,000円 ⇒ 3,500円
固定資産税	1.4% ⇒ 1.45%
軽自動車税 ※自家用乗用車	7,200円 ⇒ 10,800円 (1.5倍)
入湯税の導入	150円
ゴミ処理	有料化 (1リットルあたり2円)
下水道使用料	1,470円 ⇒ 2,440円 (10㎡あたり)
施設使用料	5割増
市職員数	約260人 ⇒ 約100人
市議会議員数	18人 ⇒ 9人
職員・議員の給与	約4割削減

全国最高の市民負担で
全国最低の行政サービス

人口減少
約13,000人
↓
約9,400人

65歳以下人口
約7,800人
↓
約4,900人

高齢化率※
約39%
↓
約47%

※ 総人口に占める65歳以上の割合。

平成19年
財政破綻

北海道夕張市の例

財政破綻後の夕張市は、市民税や軽自動車税、施設使用料の値上げなど、市民負担が増える様々な措置をとらざるを得ない状況となりました。

財政破綻してしまおうと
生活が一変します

夕張市は炭鉱で栄え、昭和35年には約12万人もの人口がありました。
しかし、主要エネルギーの石炭から石油への移り変わりによって、炭鉱経営は悪化し、閉山。炭鉱から観光への産業転換を目指しましたが、うまく行かず、過大な投資による赤字隠しが発覚し、平成19年3月6日に財政破綻しました。
夕張市は国の管理下で353億円の借金を返済していくことが決められ、その後、財政健全化法が成立し、平成22年に全国初の財政再生団体となりました。
財政破綻後、夕張市では、市民税、固定資産税、軽自動車税、下水道使用料などが全て値上げされ、ゴミ処理も有料となりました。
また、公務員の給料は約4割削減、職員数も半分以上に減らされ、最低限の行政サービスしか受けられない状況になっています。
このような状況に陥らないためにも、境町では、新たに様々な財源確保策に取り組むなど、財政改善に努めています。